広島湾再生行動計画（第二期）　第１回中間評価　【概要】

目標	評価	主な行動指標（取り組みの進捗状況を評価する指標）	主な状態指標（広島湾の保全・再生状況を評価する指標）

多様な生物を育む、恵み豊かな里海を創生する。

評価

○下水道整備、森林整備等は着実に取り組みが進んでいる。

○底質改善については、現時点で実施されていない。

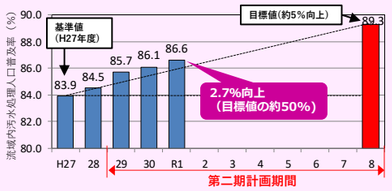
○干潟・藻場等の浅場の保全・再生、漁場環境整備、水産動物の放流等については着実に取り組みが進んでいる。

○赤潮発生件数、透明度については計画策定時に比べ改善傾向にあるが、底層 DO については改善が見られない。

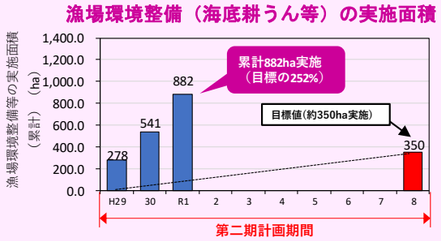
○かき生産量、海面漁業漁獲量、浅場に生息する生物の種類数・個体数は減少傾向である。

主な行動指標（取り組みの進捗状況を評価する指標）

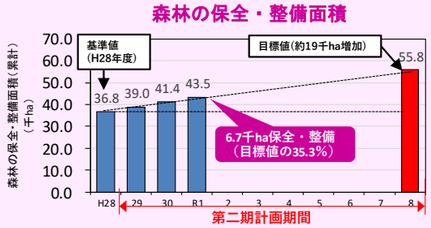
汚水処理人口普及率



漁場環境整備（海底耕うん等）の実施面積



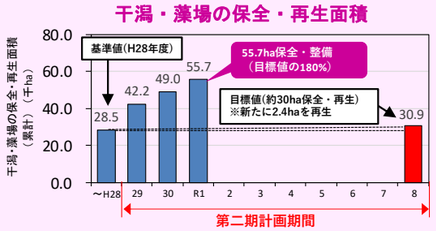
森林の保全・整備面積



底質改善の実施面積

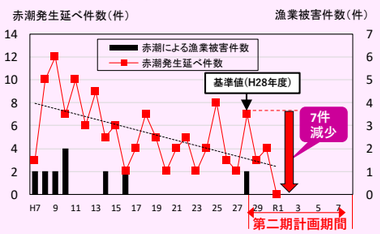
底質改善：目標 18ha に対し、実施済面積は無し。（ただし海田湾で石炭灰造粒物を活用した環境改善技術の実証実験中）

干潟・藻場の保全・再生面積

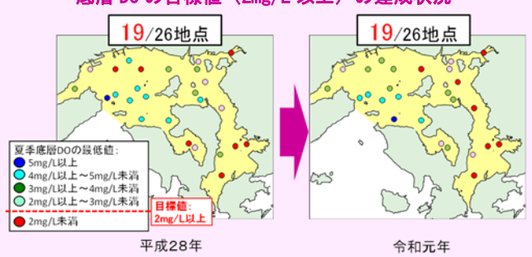


主な状態指標（広島湾の保全・再生状況を評価する指標）

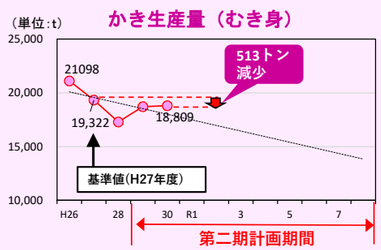
赤潮発生状況



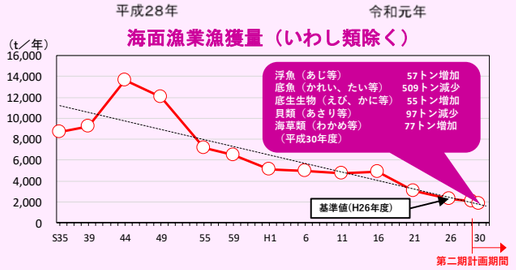
底層 DO の目標値（2mg/L 以上）の達成状況



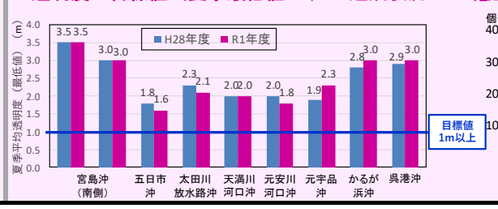
かき生産量（むき身）



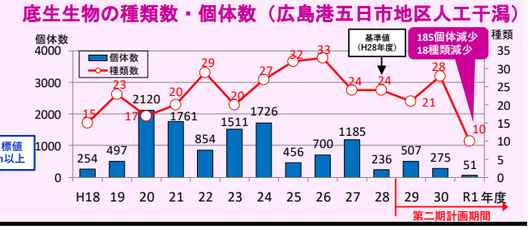
海面漁業漁獲量（いわし類除く）



透明度の目標値（夏季最低値 1m）の達成状況



底生生物の種類数・個体数（広島港五日市地区人工干潟）



人々が行き交う、賑わいと癒やしの水辺空間を創出する。

評価

○親水施設や賑わい施設の整備が進んでおり、利用者も着実に増加している。

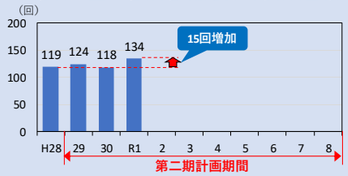
○環境教育・普及啓発活動の実施回数は着実に増加しているが、参観人数が伸び悩んでいる。

○市民・NPO 等の自主的な活動は着実に増加しており、参加人数・団体数も増加している。

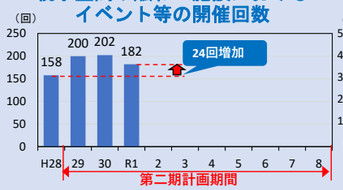
○広島湾再生行動計画とその取り組みに対する地域住民の認知度が向上していない。

水辺の賑わい施設の整備（２箇所整備中、１箇所事業完了）

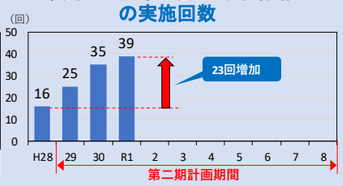
環境保全・普及啓発活動の実施回数



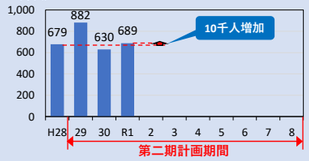
親水空間や賑わい施設における イベント等の開催回数



市民・NPO 等の自主的な活動の実施回数

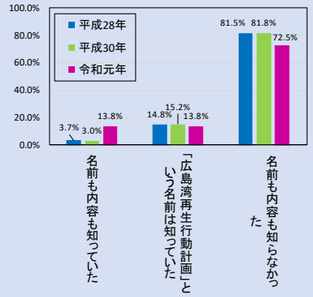


親水空間や賑わい施設の利用者数



市民・NPO 等の自主的な活動への参加人数

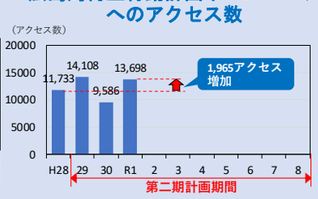
広島湾の保全・再生に関する住民等の意識（広島湾再生行動計画の認知度）



※「広島湾さとうみフェスタ」等のイベント来場者へのアンケート結果による

環境教育・普及啓発活動への参加人数

広島湾再生行動計画ホームページへのアクセス数



自然や歴史・文化的資源を活かし、水辺の美しい景観を保全する。

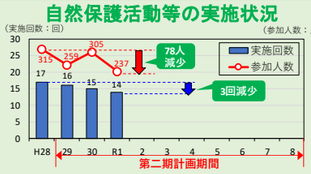
評価

○自然保護活動、エコツアーの実施回数、参加人数ともに伸び悩んでいる。

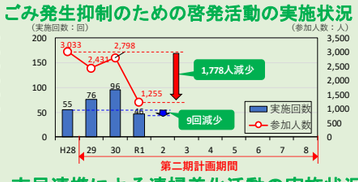
○市民連携による清掃美化活動の実施回数、参加人数は増加しているものの、ごみ発生抑制のための啓発活動の実施回数・参加人数が減少している。

○島しょ部を中心として漂着ごみが多くなっており、改善は見られない。

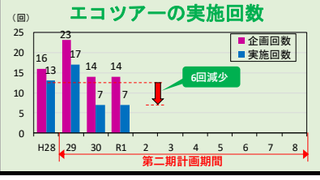
自然保護活動等の実施状況



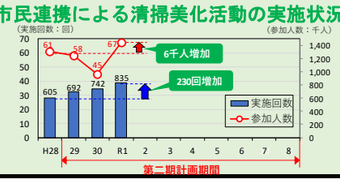
ごみ発生抑制のための啓発活動の実施状況



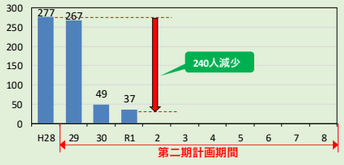
エコツアーの実施回数



市民連携による清掃美化活動の実施状況



エコツアーへの参加人数



海岸漂着ごみの状況

広島市や呉市沿岸部等では、海岸漂着物が少なくきれいに維持されている海岸が多いが、島しょ部（宮島南岸部、江田島湾内、屋代島、阿多田島等）では漂着ごみが多い。